

枚方信用金庫の環境への取組みについて

【環境にやさしい取組み】



平成23年度より枚方市地球温暖化協議会の活動に参加し、枚方市内の6店舗でさまざまな「環境にやさしい取組み」に参加しています。今年も『ゴーヤ「緑のカーテン」』による心地よい日陰の環境をつくり、家具町支店が優秀賞を受賞しました。

その他にも、節電と夜空の星の輝きを楽しむ「ひらかたライトダウン2023」に参加し、6月21日から7月7日の七夕まで、屋外広告塔の消灯を8時にしました。

また、エアコンに頼らず、打ち水により涼を楽しむ「打ち水大作戦」にも参加しています。廃棄文書をリサイクルトイレットペーパーに加工する産廃工場へ持ち込んでおり、その工場で製造された再生紙100%のトイレットペーパーを本部内のトイレに配置するなど、リサイクルにも取り組んでいます。



【地域清掃活動の取組み】



当金庫では毎月15日に、本部・本支店において早朝より役職員が店舗周辺の空き缶・ごみ拾いを行い地域の美化に貢献しています。

【節電への取組み】



信用金庫業界独自の「環境自主行動計画」にかかる数値目標」達成及び近畿財務局の「節電行動計画」目標数値達成のため、クールビズ・ウォームビズを実施。クールビズの実施期間を2021年度より、5月～9月末までから、10月末までと1か月延長しました。ウォームビズも12月～翌年3月末まででしたが、開始時期を11月に前倒しして、節電に取り組んでいます。



また、本店建物にはデマンド監視装置を設置して蛍光灯のLED電気への交換等省エネ対策に取り組んでいます。

【ペーパーレスへの取組み】

平成 29 年 6 月から本部の会議時にタブレットの使用を開始しました。また、令和 2 年 8 月にグループウェアを本格導入し、通達・事務連絡等の内部文書を紙ベースでの回覧から電子ベースへ移行し、ペーパーレス化を図っています。



【環境に配慮した店舗への取組み】

店舗の新築に伴い、順次BCP対策店舗へ改良し、これまで平成 24 年度に長尾支店、平成 28 年度に寝屋川支店・四条畷支店、平成 30 年度に門真東支店、令和 2 年度に家具町支店の 5 店舗で太陽光発電システムや蓄電池システム等を備えました。

特に家具町支店は、環境配慮型SDGs店舗として、木造平屋建ての建築物です。

照明器具についても 3 ヶ年計画でLED化に取り組み、令和 3 年度に全 20 店舗のLED化が終了しました。

